

広報 な か わ だ 2019年 3月



第 4 6 4 号

中和田カトリック教会 広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel (045)803-6141

2019年3月3日

<http://nakawada-catholic.com>

はやぶさ 2 号

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

JAXA[宇宙航空研究開発機構]によるはやぶさ2号がリュウグウに着陸して岩石の採取に成功したことが報じられて、世界中の話題になっています。

宇宙の神秘・地球の成立についての問題を見極めようと、研究者達がこの成功を喜んでいる姿が映されています。

しかし宇宙の神秘については旧約聖書の創世記1（主なる神は土（アダマ）で人（アダム）を形づくり・命の息を吹き入れられた）とあり、宇宙の神秘を神に創造された人間が探求することは、引力、地動説、月探査等、神が人間に恵みとしてくださる知恵がより深くなって続いていくことを感じます。



教会ごよみ(3月)

日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
1	金	初金ミサ(9:30)	初金	
3	日	主日ミサ(9:00)	年間第8主日	
6	水	灰の水曜日ミサ(9:30) ことばの典礼(19:00)	灰の水曜日	
8	金	週日ミサ(9:30)	ミサ	十字架の道行(9:00)
10	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第1主日	教会委員会
13	水			聖書の会(10:00)
15	金	週日ミサ(9:30)	ミサ	十字架の道行(9:00)
17	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第2主日	みんなの会
19	火	祭日ミサ(9:30)	聖ヨセフ[祭]	
20	水			聖書の会(10:00)
22	金	週日ミサ(9:30)	ミサ	十字架の道行(9:00)
24	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第3主日 子どもミサ	
25	月	祭日ミサ(9:30)	神のお告げ[祭]	
27	水			聖書の会(10:00)
29	金	週日ミサ(9:30)	ミサ	十字架の道行(9:00)
31	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第4主日	

新委員長ご挨拶

この度、教会委員長を仰せつかりました小野です。以前、教会委員長を仰せつかったのは2007年から3年間でしたので概ね10年前ということになりますが、教会内外の状況も少なからず変わって来たと感じます。

中和田の喫緊の課題の教会建物老朽化対策については、岩渕さんの陣頭指揮並びに教会内外への丁寧なご対応のお蔭で、横浜教区から基本計画のご承認を頂いたことはまことに素晴らしいことで、中和田小教区の重要な一歩と思います。

他方、中和田小教区もご多分に漏れず高齢化が進んで来ており、加えて壮年層くらいまでの社会の中枢を担っている世代の参画が少なくなり、教会のいろいろな仕事を分担して下さる方が少なくなっているという現実があります。

例えば、教会委員会が「いつまでたっても似たような顔ぶれ」であつたり、また小生のような人間が再び委員長のお役目を頂くような状況は、まさにその現れと思います。将来のことも心配になりますし、まして教会建物も一新して名実ともに「地域に密着した、開かれた教会」としてのプレゼンスを強く打ち出そうとしている現在、このことはみんなで真剣に考えることが必要な段階に来ていると思います。

昔の米大統領の有名な演説を振って表現すると、「『教会が自分に何をしてくれるのか』ではなく『自分が教会に何ができるか』をみんなで考えよう」ということになるでしょうか。

世の中には、教会に限らずいろいろな“共同体”がありますが、われわれ中和田共同体はまず「信仰共同体」であるという原点に立ち返り、みんなで当事者意識をもって、お話し合い、分かち合いを深めていければと思います。喜びも苦しみも分かち合ってこそ共同体です。能書き倒れにならないように、できるところから一歩、一歩ご一緒に進めていきたいと念じております。宜しく願い申し上げます。

(小野 雅彦)

第38回 典礼研修会報告

「ミサはあずかるもの？ ささげるもの？ 参加するもの？」

～その1 開祭とみことば～

2月11日(休)藤沢教会で、第38回典礼研修会に参加しました。研修会の内容をお知らせします。講話は久我純彦神父様と岡野充良神父様でした。

今回のテーマは、「ミサはどうやってできているの？」と題して、主日ミサの場の理解とミサのそれぞれの部分についての意味と解説をしていただきました。

ミサを4つの場面で表すとすれば、<開祭><ことばの典礼><感謝の典礼><閉祭>となりますが、今回の解説の対象は、<開祭>と<ことばの典礼>でした。

<開祭>に含まれるものは、開祭前の「沈黙」、「入祭」、「祭壇の表敬と会衆へのあいさつ」、「回心の祈り」「あわれみの賛歌」、「栄光の賛歌」、「集会祈願」があります。<ことばの典礼>に含まれるものは、「聖書朗読」、「答唱詩編」、「福音朗読前の応唱」、「福音朗読」、「説教」、「信仰宣言」、「共同祈願」があります。「ことばの食卓」から「いのちのパンを受けている」と理解し、「み言葉を聴く」、「耳で聴く」ことが大事だそうです。第一朗読は、復活節以外は旧約聖書から福音朗読に合わせて選ばれ、第二朗読は、主に使徒書から「準継続朗読」的に選ばれているそうです。「答唱詩編」は、第一朗読に合わせて選ばれるそうです。

最後に、急に司祭が不在になった場合の信徒だけで捧げる祭儀を会場の皆様と実演してみました。

主日ミサでいつも皆様と唱和したり、福音朗読を聴いたりしていますが、それぞれの関係性や意味について改めて考えさせられました。

(武田幸子)

「いのち ～ 自分を知ること」

2月11日（月）聖イグナチオ教会 岐部ホールにて大山悟神父様（日本カトリック神学院）と五十嵐弘志氏（NPO法人マザーハウス理事）の対談がありました。大山神父様が開発された受刑者のための回復プログラムについて、なぜ回復のために「自分を知ることが必要なのか」を中心にお話をお聴きしました。

このプログラムは - 人は皆、善に向かってゆこうとする存在である - を前提として、人間本来の姿（神の似姿）に戻すことを目的として作成されています。家庭環境、育成環境、能力主義や競争社会などによってねじれ、傷ついた人間が深く自己を見つめることにより人間本来の姿を見出し、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創できるようにと改心と回復を導き出します。

人は「目の前の人格的存在との対話」がなければ自分を知ることができない存在であり、人との関わりの中で自分の強さや弱さ、ゆがみ、ねじれに気づき、その出会いによって変えられ成長、成熟へと向かいます。内省とは静かな場所に身を置き、大きな力（神）に包まれ、その力に心を開きながら、ゆがめられ傷つけられた感情を外に出し対象化、客観化することで深く自己を見つめ、生かされていることに気づく促しをします。神との対話と言えると思います。生かされていると気づきがあったとき価値観、物の見方が変わっていく - 変容することができます。自分だけでなく周りの人も生かされていると気づいたとき、自分も肯定でき周りの人も肯定できるようになると言います。

このプログラムの考え方は現在当教会で行っている入門講座・第Ⅰ期の「自分に出会う」に重なり、「自分を知ること」「自分に出会う」ということは社会生活をする上で、より成熟した人間関係を築くために重要な課題であると改めて確信しました。ちなみに入門講座では本当の自分に出会うために「分かち合い」を行います。「分かち合い」をすることによって自分を知り相手を知ることができます。本当の自分を知り本当の自分を受け入れられるようになると相手に対して共感できるようになります。分かち合いで重要な点は相手の言うことを否定しない、聴くという態度です。

回復プログラムの中心課題である真の命に立ち返るために、私たちは日々祈りの中で神との対話を忘れてはならないし、共同体の中でも対話や分かち合いを行うことが大切であると感じました。

（今井暁子）

第28回 横浜地区 聖歌の集い

今年の聖歌の集いはグレゴリア聖歌 "orbis factor" をキリアーレとして使用します。

5月19日（日）午後2時～5時半 戸塚カトリック教会 ミサ司式 国本清三神父様

* 国本神父様による「ラテン語とグレゴリオ聖歌について」の講演も予定しています。

<練習日>

- 3月3日（日）午後2時～5時 保土ヶ谷教会
- 4月28日（日）午後2時～5時 山手教会
- 5月12日（日）午後2時～5時 戸塚教会（リハーサル）
- 5月19日（日）午後2時～5時半 戸塚教会（本番）

聖歌を歌うのが好きな方ならどなたでも参加できます。

詳細は大宮絢子さんにお問い合わせください。



委員会だより (文中敬称略)

(2月10日(日) 12名出席)

■日野神父様のお話

・新年度になりましたが、新委員の方々よろしくお願ひ致します。4年前に着任しましたが、来た当時は自分で何でもやっていました。これからも努力してがんばりますが、委員さんにお願ひすることも多くなると思います。その時は、よろしくお願ひ致します。

■建設委員会報告(岩淵建設委員長)

・先日のミサの後にお知らせしたが、司教顧問会に提出した建設の基本的な方針が承認された。

・次のステップは設計士の選定、その次は建物の詳細設計になる。

・配布資料の内容のように進めていく予定である。

・これからは第二次建設委員会を立ち上げ、メンバーを追加していきたい。その時、現教会委員会のメンバーは全員含めることとした。

☆承認された。

(意見)

・(日野神父様)オリンピックや消費税との関りはどうか。環状3号線道路のことはどうか。
↓オリンピックの影響は現時点では少ないと考えている。消費税分については、資金計

面に織り込んである。3号線道路工事については、教区にも説明したが平成32年以降の工事着工予定だそうです。

・設計士は私達の意向を聞いてくれる人が良い。

■各グループからの報告

●宣教(井上)

・第5地区リーダー会が、2月23日雪ノ下教会でお楽しみ会を開催する。中和田教会からはマナリリさんが(2人)参加する予定。餅つき大会とカルタ取りをする。

●財務(小野(和))

・1月度の一般会計、建設会計、愛の献金が紙上報告された。

●典礼(小野(雅))

・2月、4月の典礼の予定確認。

●総務(小山(利))

・3月のスケジュール確認

●広報(武田)

・原稿依頼(締め切り 2月20日)

■その他報告事項

・月修資料が配布された。

■討議事項

・2年前の中和田建設委員会資料をもとに、中和田教会の現状認識を改めて確認し意見交換を行った。

(次回委員会 3月10日)

以上

編集後記

教会は新年度に入り、新委員長はじめ各部役員も少しずつ変わり活動がスタートしました。

大きな課題である建物建設問題も司祭館改修工事が終わり、第一歩を踏み出し希望の光が見えてきました。そして、聖堂・信徒棟のリフォームの検討が始まっています。皆様もそれぞれの立場で頑張ってください。

広報部も人数減少傾向ですが、限られた人数の中で頑張っています。中和田教会は小さい教会ですので毎月の記事も少なくなりがちですが、できるだけ皆様の心の交流をはかり、また、教会に来られない方々にも教会の様子がわかるようにしたいと努力してまいりますので、毎月、目を通してくださるようお願い致します。

(武田幸子)

